



教養ゼミによる出張科学講座



目的

- ・リと碓井が担当する教養ゼミIIでは、地域の学童保育施設と連携し、大学生が主体となって企画・運営を行う「科学の楽しさを伝える出張講座」を実施した。
- ・学生が「誰に、何を、どのように伝えるのか」を具体的に考え、試行錯誤を重ねながら活動を計画・実施した。
- ・学童保育施設に通う小学校低学年の児童を対象に、理科・科学への興味や関心を喚起することを意図した実験および工作活動を実施した。

1

実験・工作の内容

- ・空気の性質（ペットボトルと風船で作る空気大砲）
- ・化学反応（酢と重曹、または重曹とクエン酸による化学反応を利用し風船を膨らませる実験）
- ・ばねの性質（輪ゴムを使った紙コップ飛ばし）



2

実験・工作の内容

- ・表面張力と紙の性質（水に浮かべて開く紙の実験）
- ・ゲル化反応（つかめる水カプセル）
- ・物質の性質と拡散（保冷剤とアロマオイルを使用した芳香剤作り）





実施体制

- ・二つの学童保育施設での並行実施
- ・各施設に複数の体験コーナーを設置
- ・施設ごとにスーパーファシリテータを配置

当日の活動

- (1) 全体活動
 - ・オープニング（全体紹介）
 - ・科学クイズタイム
- (2) グループ活動
 - ・実験・工作コーナーでの体験学習
 - ・各コーナーのローテーション
- (3) まとめ
 - ・学びの振り返り
 - ・科学の面白さについての対話



振り返り

学生が企画から実施までを担い、実際の現場で活動を行うことにより、課題解決力やコミュニケーション能力、チームワーク力といったスキルを総合的に活用する機会となった。また、地域と協働することで、学生は学内にとどまらない視点で自らの学びを捉え直すことができた。

